

令和2年度 事前評価点検表 (内部評価)

1 事業概要

| | | | | | | |
|----------|--|------------------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| 事業名 | 公立大学法人大阪 新大学学舎整備事業 | | | | | |
| 担当部署 | 法人事務局法人管理部施設課 | | | | | |
| 事業個所 | 大阪市城東区、阿倍野区、住吉区、堺市中区 | | | | | |
| 事業目的 | <p>令和2年1月、新大学の方向性や教育研究組織、キャンパス整備の方針等を示した「新大学基本構想」を府・市・法人で取りまとめました。</p> <p>また、大阪市立大学と大阪府立大学の統合による新大学設置を令和4年(2022年)4月に行うことが盛り込まれた中期目標変更に係る議案が府市両議会で可決されたことにより、新大学の設置・開学時期が明確に示されることとなりました。</p> <p>これらを踏まえ、魅力ある新大学の実現のため、森之宮の都心新キャンパスや既存キャンパスの整備を本格的に進めていくこととしています。</p> | | | | | |
| 事業内容 | 【計画(主な施設)】 | | | | | |
| | | 森之宮1期 | 森之宮1.5期 | 阿倍野 | 杉本 | 中百舌鳥 |
| | 建物構成 | 新棟(基幹教育 文学 リハビリ 生活科学(栄養)) | 新棟(情報学) | 新棟(看護) | 新棟、改修(理学) | 新棟、改修(工学情報学) |
| | 延床面積 | 77,175 m ² | 8,000 m ² | 17,609 m ² | 8,531 m ² | 25,620 m ² |
| | 整備手法 | DB方式 | 未定(定期借地方式を検討) | E C I方式 | DB方式 | DB方式 |
| 事業費 | <p>全体事業費(税込)：約918億円</p> <p>※概算費用であり、今後変動する可能性あり</p> | | | | | |
| 事業費の変動要因 | <p>・基本設計段階での概算額であり、今後、各整備手法の中で事業費を精査する。</p> <p>・コロナによる社会情勢の影響や建設需要の増減に伴い、事業費が変動する可能性がある。</p> | | | | | |
| 維持管理費 | 約1.5億円/年(国土交通省「中長期的なコスト推計方法の例」を参考に算出) | | | | | |
| 関連事業 | - | | | | | |

2 事業の必要性等に関する視点

| | |
|---------------|---|
| 上位計画等における位置づけ | <p>【第1期中期目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府、大阪市及び法人の3者で今般「新大学基本構想」を取りまとめた。これに基づき、大阪の発展をけん引する「知の拠点」となる新大学を2022年度に設置する。 ・キャンパス再編及びそれに伴う整備については、大阪府、大阪市及び法人間で緊密に連携して取り組む。 <p>【第1期中期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府及び大阪市と緊密に連携し、2025年度からの供用開始を予定する都心キャンパス |
|---------------|---|

| | |
|--------------------------------------|--|
| | <p>ンパスを森之宮に整備するとともに、既存キャンパスの整備・集約化を進める。</p> <p>【令和2年1月（令和2年7月改訂）新大学基本構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新大学では、2025年度を目途に都心メインキャンパスを森之宮に整備するとともに、同種分野で集約化を行う学部（工学部、理学部、看護学部）については、同一キャンパスで教育を行う必要があることから、キャンパスの集約化を優先的に進める。 工学部⇒ 中百舌鳥キャンパスに集約 理学部⇒ 杉本キャンパスに集約 看護学部⇒ 阿倍野キャンパスに集約 ・都心メインキャンパスには、全学の学生が一堂に集う基幹教育とともに、大阪の都市課題の解決や成長に貢献していくために必要な機能（都市シンクタンク機能や技術インキュベーション機能の拠点）のほか、森之宮キャンパスに必要なものについて配置する。 |
| 優先度 | <ul style="list-style-type: none"> ・2022年に新大学を設置予定であり、教員・学生の教育研究に影響が出ないよう早期整備が必要である（大学設置申請書類にも記載している）。 ・同種分野で集約化を行う学部（工学、理学、看護学）については、同一キャンパスで教育を行う必要があることから、集約化を優先的に進める必要がある。 |
| 事業を巡る社会経済情勢等 | <ul style="list-style-type: none"> ・我が国において、急速に少子高齢化が進行する中、国立大学にあっては法人統合の検討が進むほか、私立大学間では学部移譲が容易になるなど、大学再編、統合を後押しする動きが進みつつある。一方、アジアの主たる都市に所在する研究型大学は、数万人の学生を有し、英語による授業にも積極的に取り組み、近隣国の留学生を受け入れ、世界的なプレゼンスを高めている。 このような状況下で、大学統合によって一定規模の大学となり、国内のみならず海外に対しても大学の価値を一層高めることが求められている。 |
| 地元の協力体制等 | — |
| 事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標> | <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の投資効果を分析する手法は確立されていない。 |
| 事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性) | <p>【効果項目】</p> <p><安全・安心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震性確保を前提とした安全な建築構造の構築 <p><活力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心キャンパスを整備することで、都心ならではの刺激も増え学生教職員の活性化が期待される。 <p><快適性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の建築技術を用いた施設整備をすることで、全ての人が安心して快適に利用できる。 <p>【受益者】</p> <p>府民・市民、学生教職員 等</p> |

3 事業の進捗の見込みの視点

| | キャンパス | 事業 | 基本設計 | 実施設計 | 建設工事 |
|----------------|--------|--|-------------------------|---------|------|
| 事業段階ごとの進捗予定と効果 | 森之宮 | 1期 | R2年度 | R3～R6年度 | |
| | | 1.5期 | 1期整備後、早期整備できるよう検討中 | | |
| | 阿倍野 | — | R2年度 | R3～R6年度 | |
| | 杉本 | 新棟 | R2年度 | R3～R5年度 | |
| | | 改修 | | R5～R8年度 | |
| | 中百舌鳥 | 新棟 | R2～R7年度 | R3～R5年度 | |
| | | 改修 | | R5～R8年度 | |
| | 完成予定年度 | 森之宮 | 1期 2025.4 供用開始 1.5期 検討中 | | |
| 阿倍野 | | 2025.4 供用開始 | | | |
| 杉本 | | 新棟 2024.4 供用開始 改修 2025.4～2026.4 順次供用開始 | | | |
| 中百舌鳥 | | 新棟 2024.4 供用開始 改修 2025.4～2027.4 順次供用開始 | | | |

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

| | |
|-----------|-----------------------------|
| コスト縮減の工夫等 | 令和2年7月 第1回大阪府戦略本部会議において、検討済 |
|-----------|-----------------------------|

5 特記事項

| | |
|----------------|------------------------------|
| 自然環境等への影響とその対策 | ・本事業において新たに自然環境に影響を与えることはない。 |
| その他特記事項 | — |

6 評価結果

| | |
|------|---|
| 評価結果 | <p>○事業実施</p> <p><判断の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年に新大学を設置予定であり、教員・学生の教育研究に影響が出ないよう早期の整備が必要である（大学設置申請書類にも記載している）。 ・同種分野で集約化を行う学部（工学、理学、看護学）については、同一キャンパスで教育を行う必要があることから、集約化を優先的に進める必要がある。 <p>以上の理由から、事業を実施する。</p> |
|------|---|